ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、平成19年度中間期におけるジャパンネット銀行の取り組みを皆さまにご紹介するため、中間期ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

平成19年中間期は、口座数168万口座、預金残高3,739億円、ネット決済件数は3,465万件、当期純利益5億1百万円となり、昨年度下半期に続き黒字を計上することができました。

当社が順調に成長し続けられますのも、ひとえに日ごろからお取引をいただいております皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

平成19年度中間期におきましては、ネット決済やローン、FX等主力事業の収益が順調に拡大する一方で、必要な投資を行いながらも営業経費の増加を抑制できました。また、8月に米国サブプライムローン問題が顕在化し、金融市場が大幅に動揺いたしましたが、当社は、米国サブプライムローンに関連する証券を保有しておらず、直接的な影響は受けませんでした。

ジャパンネット銀行は今後とも、財務の健全性を維持し、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

インターネットバンキングが一般化し,より身近な存在になるにつれ、ニーズもさらに多様化してきています。今後も皆さまのニーズに十分にお応えできますよう、魅力あふれるインターネット金融サービスを実現してまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2008年1月

代表取締役社長　藤森 秀一